

大阪府立中央図書館E S C O事業提案審査の講評

本ESCO事業は、昨今、節電や省エネ対策の機運が高まっていることを踏まえ、大阪府では初となる図書館施設を対象として提案公募を行ったものです。

提案公募に当たっては、最近価格下落の著しいLED照明についてESCO採算性が高いものと考え、従前の空調関係の省エネ手法に加えてESCO方式によるLED照明導入提案も一定求めることとし、公募条件の省エネルギー率も1%以上と低く設定し、ESCO事業性を高めることとしました。

このような条件のもと、2グループより提案をいただくことができ、各グループともに、その技術力をいかんなく発揮された結果、公募条件を大きく上回る省エネルギー効果の高いご提案でありました。

特に、アズビル株式会社、NTTファイナンス株式会社のご提案は、空調熱源設備について高効率インバータターボ冷凍機等への全面更新やその最適化運転、空調機のインバータ制御、約6,600本のLED照明化等により約41%と極めて高い省エネ率であり、大阪府にとって非常に有益な内容で総合的な観点からも優れた提案でありました。

本建物においては、ダブルスキンや空調機ファンの可変風量制御等の建設当時における最先端省エネ技術を取り入れているにも関わらず、今回41%もの省エネ化のご提案があったことは驚きであり、今後、他の施設における省エネ化についても検討の余地が広がるものと考えられます。

また、日本電技株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社のご提案は、空調熱源設備について、一部系統を個別空調化することにより熱源容量をダウンサイジングした高効率空冷ヒートポンプチラー等の導入や、ほぼ全館のLED照明化等の手法により、高い省エネ率となるものでありましたが、総合的な観点から、前者の提案に及びませんでした。

事前に公表している審査要領及び募集要項に基づき審査を行い、その結果、総合評点の最も高いアズビル株式会社、NTTファイナンス株式会社のご提案を最優秀提案とし、日本電技株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社のご提案を優秀提案といたしました。

最後に、多大なるご労力をかけ、貴重なご提案をいただいた応募者の皆様に、あらためてお礼申し上げます。

以上

大阪府E S C O提案審査会E S C O事業者選定部会
部会長 相良 和伸